

古城小の歴史

〈昭和53年～昭和63年〉



仙台市で62番目の小学校として建築開始！



昭和53年4月1日に産声を上げました。



南材木町小学校、南小泉小学校、若林小学校から675名の子供たちが、4月4日、一同に会しました。



8月には古城夏祭りが行われました。



11月には、校歌、校旗も制定され、発表会が行われました。



これは、昭和53年頃の校舎周り緑化作業の様子です。



昭和54年頃には、花壇が作られ始めました。



昭和56年には、遊具が制作されました。



昭和57年には5周年記念として築山が完成しました。



昭和63年には、開校10周年の記念行事が盛大に催されました。

〈平成8年〜〉



平成8年にコンピューターが導入され、平成9年にはインターネットも活用できるようになり、市内でも先進的な学校として新たな歩みを始めました。



今では50種類、1700本の樹木に囲まれた緑豊かな学校になりました。



平成9年には、全国から多くの先生方をお招きして、社会科・生活科・特殊教育の公開研究会が行われました。



平成20年10月
30周年記念式典が盛大に執り行われました。



20年前には小さな苗木だった校舎周りの木も、青空に向かう大きな樹木になりました。



2012年3月11日
東日本大震災発生

最大千名を超える地域の方が学校で不安な夜を過ごしました。



平成10年11月7日に、20周年記念式典が、盛大に開催されました。



たくさんの支援が大変ありがたかったです。



20周年記念マリンバ演奏会です。子供たちの代表も演奏しました。



自衛隊の方々の方々の力強さがとても頼もしく、ありがたかったです。



20周年を記念して、子供と教職員全員で、校庭に人文字の校章を作りました。



他県からたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。